

<学校名> 美里町立東児玉小学校

<所在地> 児玉郡美里町大字阿那志13番地

<電話> 0495-76-0335

<本事例の特徴>

本校は、外国籍の子供が3人在籍している。全校の約1%だが、児童は異文化に親しみを
持って過ごしている。ALTを主体とした外国語活動の授業内外における言語活動と国際
理解教育の取り組みについて紹介する。

<具体的な取組や成果>

○外国語活動・外国語

国際理解を促すためには、子供が他国に興味関心を持つ必要がある。

普段の授業では、1・2年生には様々な国の挨拶、3・4年生には様々な国の文化や習慣、
5・6年生にはベーシックな挨拶や簡単な語句を指導している。さらに、積極的にコミュニ
ケーションが取れるよう言語活動に力を入れている。

言語活動について授業内では、アクティビティを多く取り入れ、授業外では、既習の指定
された文章を使って他の先生たちと会話をするという課題を出している。

例えば、5年生は「Do you like ~?」「Can you ~?」と先生にインタビューをしてクラ
スで発表している。実際に人と会話をし、子供自身が自分から発信することに重点を置いて
いる。

○国際理解教育

国際理解教育については、子供は、様々
な国の文化を授業内で学んだり廊下に設
置しているイングリッシュボードを見たり
している。また、外国籍の子供が少ない
とフォーマルな言語とカジュアルな言語
を区別することが難しいため、ALTは自国
のオーストラリアスラングを授業外で使
用するようにしている。



○カジュアルな挨拶を知った児童の感想(一部)

英語で「こんにちは。」は“Hello.”しかないと
思っていた。あまりかたかなくて使いやすい。
友達や仲のいい人に使ってみようと思う。

